

J A いしかり

2019

6月号

Vol.362

第31回通常総会開催



2-3P

第31回通常総会開催

8-9P

地産地消特集 第2弾 すし そう じゅんちよう 鮭爽醇鳥 ひだか

12P

小さな農家の大きな夢 ~YUMEYASAI~

平成29年度新規親元就農者 波多野 夢子さん

第31回通常総会開催



当日有効総数	540名
出席	182名
出席状	17名
出席計	16名
総計	241名
総計	456名

4月10日、石狩市花川北コミュニティセンターで第31回通常総会を開催しました。

開会に先立ち新規就農者激励状授与式を行い、新規就農者5名へ北海道農業協同組合中央会札幌支所の菅沼弘生次長より激励状が授与されました。

開会にあたり、中村武史代表理事組合長が『今年第6次中期経営計画の中間年であり、計画目標を達成させるとともに、第29回JA北海道大会の決議事項である協同の力で「農業所得の増大」と「多様な担い手



▲組合長挨拶

の確保・育成」の実現を目指して役員一丸となって取り組んで参ります。また本年は役員改選の年であり、慎重審議の上、ご承認賜るよう宜しくお願い申し上げます。

豊稔の秋を迎えられることを祈念します。』と述べました。

続いて、来賓を代表して田岡克介石狩市長、池端英昭道議会議員、北海道石狩振興局佐藤哲夫局長、ホクレン札幌支所千場啓史支所長より祝辞をいただきました。

議事では、平成30年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案および注記表の承認、平成31年度事業計画、役員選任など6議案を上げし、全件賛成多数で承認されました。特別決議では、藤岡裕寿青年部長が「JA北海道大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革の取組に関する特別決議」を上げし、出席者の満場の拍手で決議しました。



▲ホクレン札幌支所千場啓史支所長



▼石狩振興局佐藤哲夫局長



▲池端英昭道議会議員



▼田岡克介石狩市長

議長を務めていただいた小林卓也さん（花畔地区）は「日頃から農業を積極的
に手伝ってくれる若い息子達が将来石狩
で農業をやりたいと言った時に、快く安
心してできる魅力ある地域をつくること
が本総会議案の農業所得増大と地域担
手倍増による持続可能な魅力ある地域実
現と考えます。花畔農住地域では、自分
が一番若い生産者であり、今後も見据え
て農業者、JA、行政、関係者が一丸と
なつて取り組んでいければと思います。」
と議長退任にあたり挨拶しました。

また、本総会をもって役員を退任する
4名への花束贈呈と青木政文さんへ永年
勤続の感謝状の贈呈を行い、退任役員を
代表して青木政文さんが「私達4名は、
本日の総会を持ちまして退任させて頂く
ことになりました。組合員の皆様には、
本当に長い間お世話になり、大変有り難
うございました。」と挨拶しました。



▲特別決議を朗唱する
藤岡裕寿青年部長

▼議長に選出された
小林卓也さん



▲役員を退任される方々

終わりに、石狩市議会の
日下部勝義議長より当JA
の更なる発展を祈念して万
歳三唱が行われ盛会のうち
に終了しました。

なお、総会後に開催した
臨時理事会において中村武
史代表理事組合長と氏家暢
常務理事が再任されました。



新規就農者激励状授与



▲日下部勝義市議会議長による万歳三唱

— 新規役員体制 —

任期：平成31年4月10日～令和4年3月

代表理事組合長	中村 武史
常務理事	氏家 暢
理事	小池 裕明
理事	大村 喜紀
理事	熊倉 正紀
理事	新居 直樹
理事	吉田 裕行
理事	川上 登 (新任)
理事	関戸 勝也 (新任)
信用担当理事	石崎 敏司 (新任)
代表監事	相田 芳男
監事	大嶋 浩司 (新任)
監事	小林 正夫 (員外監事)



▲抽選会の様子



新規就農者紹介



石狩地区
伊藤 傑さん



石狩地区
寺内 一樹さん



花畔地区
杉中 真由美さん



生振地区
八川 正人さん

石狩地区
檜木 好恵さん

新規就農者の皆さんを今後紙面で紹介させていただく予定となっています。

退任・就任役員紹介

退任役員



信用担当理事 大江 徹

平成28年から信用担当理事兼金融共済部長を務め、現在は内部監査室審査役として本店に勤務しています。



理事 六川 清春

平成22年に理事に就任、3期9年にわたりご尽力頂きました。



理事 池端 正幸

平成19年に理事に就任、4期12年にわたりご尽力頂きました。



代表監事 青木 政文

平成16年に監事に就任、平成19年より代表監事として、5期15年にわたりご尽力頂きました。

就任役員



信用担当理事
石崎 敏司
金融共済部長兼務



理事 関戸 勝也

生振地区
水稻・小麦・牧草



理事 川上 登

花畔地区
酪農・牧草・小麦



監事 大嶋 浩司

生振地区
小麦・長芋

第13回米麦振興会通常総会

第13回米麦振興会通常総会・米麦カルチャーセッションセミナー

3月28日、ふとみ銘泉で第13回米麦振興会通常総会及び米麦カルチャーセッションセミナーを開催しました。当日は、昨年にも増して多くの会員の皆様に参加していただき、大変有意義な総会及びセミナーとなりました。



▲竹永啓一 会長

竹永啓一 会長の開会挨拶に続き、来賓を代表して当JA中村武史代表理事組合長が祝辞を述べ、議長に熊倉雄一さん（北生振地区）が選任され、平成30年度事業報告、収支決算報告、平成31年度事業計画、収支予算計画等、議案は全て承認されました。

初開催

米麦カルチャーセッションセミナー

総会終了後、初めての試みとして『目指せ！10俵どりの米麦カルチャーセッションセミナー』と題した米麦栽培技術講習会を初開催しました。

内容は、まず前半に石狩農業改良普及センターの佐々木普及員・高橋係長に米麦栽培技術の講習並びに平成30年度試験結果の報告をしていただき、続いてホクレン札幌支所米麦農産課の堀米職員に「北海道米の取り組み」について説明していただきました。



▲熱心に聞く生産者

後半には、基調講演として北海道米麦改良協会の高橋義雄さんを講師にお招きして『こうすれば10俵とれる!!』をテーマに小麦（きたほなみ）の栽培技術を長年の経験を交えてお話いただきました。成功談だけでなく、自らの失敗談も絡めて生産者に熱意を持つて話をする高橋さんの講演は大変好評で、生産者も熱心に耳を傾けていました。

波多野 正輝さん



後半には、基調講演として北海道米麦改良協会の高橋義雄さん（北海道米麦改良協会）、パネラーとして高橋係長（石狩農業改良普及センター）・五十嵐考査役（ホクレン札幌支所米麦農産課）に加え、当JAの優良生産者を代表して成田和彦さん（高岡地区）・波多野正輝さん（生振地区）に参加していただきました。普及所目線・実需者目線・生産者目線等の様々な立場から飛び交う意見は、聞いている生産者にとって大変貴重なものとなりました。また、自らの経験・技術を包み隠さずお話しくださった成田和彦さん、波多野正輝さんにはこの場を借りてお礼申し上げます。また、セミナー後には交流会が開催され、盛況の内にと終了しました。

成田 和彦さん



後半には、基調講演として北海道米麦改良協会の高橋義雄さん（北海道米麦改良協会）、パネラーとして高橋係長（石狩農業改良普及センター）・五十嵐考査役（ホクレン札幌支所米麦農産課）に加え、当JAの優良生産者を代表して成田和彦さん（高岡地区）・波多野正輝さん（生振地区）

▼特別講師・高橋義雄さん



いしかり災害時対応 ファーマーズ・マーケット第1号に!!

いしかり 災害時対応ファーマーズ・マーケット 認定書

(市町村名)

石狩市

(直売所の名称)

JA いしかり地物市場とれのさと



この農産物直売所は、災害発生時においても営業を継続、食料品の供給や、住民のみなさまが必要とする情報の提供など、災害発生時の拠点となる機能を有しているものとして、「いしかり災害時対応ファーマーズ・マーケット」に認定します。

北海道石狩振興局

3月26日、石狩振興局事業「いしかり災害時対応ファーマーズ・マーケット」の第1号として地物市場とれのさとがモデル認定されました。この事業は、災害発生時に食料品供給や情報発信の拠点として農産物直売所を活用しようというものです。

昨年9月の北海道胆振東部地震でのスラックアウトによる混乱の中、出荷者協議会の皆さんの多大な協力のもとで、地震発生の日々には営業を再開した「とれのさと」の対応を高く評価していただき、この度の認定に繋がりました。

今後は、災害時においても営業を継続できるように発電機や照明、バッテリーで稼働するレジの設置や、携帯電話の充電をサービスカウンターで行えるように取り進めてまいります。万一、災害が発生した際には、直売所の強みを活かして「とれのさと」で炊き出しを行い、市が開設する避難所や給水場所などで周知を図り、近隣の医療機関や福祉施設に食材を届けるなど皆様のお役に立てる施設にしていきたいと考えています。

スプリングセール

3月30日～31日、地物市場とれのさとでスプリングセールを開催しました。

これは夏期営業開始に伴うセールで、オープン前から多くのお客様が長蛇の列を作り、開店と同時に目当ての売り場へ先を競いながら進む様子が見られました。

ハウス栽培のハウレンソウや越冬物の根菜類を中心に好調な売れ行きで、このイベントの企画商品の越冬キャベツやいしかり漬けも非常に人気でした。



また、週末限定炊き込みご飯の販売も開始し、加工グループによる手作り惣菜の販売等もあり、心待ちにしていたお客様に大好評でした。

午後からは馬鈴薯詰め放題で集客を行い、来客数は2日間合計で2千人を越え、大盛況のイベントとなりました。

会員の皆様には引き続き沢山の出荷で盛り立てていただきますようお願いいたします。今後も各種イベントを行いますので、組合員の皆様も是非「とれのさと」へご来店ください。



園芸市

4月13日～14日、地物市場とれのさとで園芸市を開催しました。肥料や家庭菜園の培土、人気の種イモの販売のほか、「小林花園」さんによる花卉の鉢植えや、「いしかり番屋のせいせんいちば」さんによる石狩鮭醤油を使った焼き鳥、「厚田水産」さんによる魚介類の対面販売などこの日を待ちわびていたお客様で大変賑わいました。

ホクレンと資材課の職員による園芸指導もあり、肥料の成分や自分の畑に必要な培土の量を熱心に確認している姿があちこちで見られました。JAブランドの肥料や培土を購入できるチャンスと大量購入している常連のお客様も多く、毎年定番のイベントとなっています。

石狩鮭醤油を使用した焼き鳥と、厚田水産さんによる対面販売★



Q

「鮭爽醇鳥 ひだか」という店名の由来を教えてください。

A. 鮭爽醇鳥の“鮭”と“鳥”は「ひだか」で寿司や鳥料理を取り扱っていることから、爽と醇は日本酒の4つのタイプ「熟酒・醇酒・薫酒・爽酒」に分類され、中でもよく飲まれるのが爽酒と醇酒であることから、その2文字を使用しています。

“ひだか”という名前は、もともと父が経営していた「日高寿し」が由来しています。父が日高地方のえりも出身であったことから、日高寿しと名付け、今でも引き継いで使用しています。



石狩で唯一
まろさけし
「唼酒師」の資格を持つ
店主・矢野目伸一さん

Q

「鮭爽醇鳥 ひだか」はいつから始めたのですか？

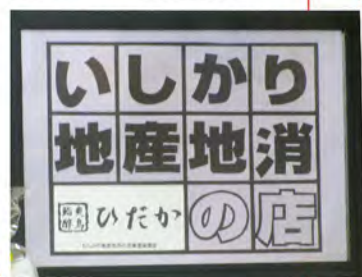


A. 私は、25歳で^{あじわい}「味話居」という居酒屋をオープンさせ、その頃父が「日高寿し」を営んでいました。少しして私は居酒屋から「日高寿し」の後を継ぎ、それから約24年が経ちますが、現在の場所での営業は、平成13年12月から開始し、17年間営業しています。

Q

「鮭爽醇鳥 ひだか」の地産地消の取り組みを教えてください。

A. 食材は石狩産野菜を中心に使用しています。中でも長芋は全道どこよりも石狩産のものが美味しく、バッテラや一品料理にも使用しています。また「石狩鮭醤油ラーメン」の麺にも、石狩産小麦「春よ恋」が使用されています。今でこそ「地産地消」という言葉が浸透しつつありますが、当店では浸透する前の段階で多くのメディアに取り上げられており、最近では「LOVE HOKKAIDO (HTB)」の取材や「じゃらん4月号」にも掲載されました。



イコロランの出し巻き

アイヌ語で「宝物」という意味を持つ、石狩産の有精卵を使用した一品。この出し巻きは普通の出し巻きとは一味違い、醤油を使用せずに梅おろしで食べることでイコロランそのものの味を堪能できます。



いしかりバッテラ

石狩産のスモークサーモンと長芋を使用した押し寿司です。中に入っている長芋のシャキシャキ感とスモークサーモンの味がとてもマッチしています。店主・矢野目さんがオリジナルで作った「いしかりバッテラ」は「石狩」を味わえる一品となっています。



すしそうじゅんちよう

鮭爽醇鳥 ひだか

〒061-3209
石狩市花川南9条3丁目92-6
イースヴィレッチ1F
TEL : 0133-73-2266
<https://www.umai-hidaka.jp/>

ホームページは
こちらから
ご覧頂けます★



鮭爽醇鳥 ひだか

3・4月合併号に引き続き、石狩産農産物の地産地消特集第2弾として、今回は石狩市花川南にある「鮭爽醇鳥ひだか」さん（以下「ひだか」）にお邪魔してきました。ミシュランガイド北海道2012をはじめとする数々のテレビ番組や雑誌にも掲載されている石狩市の名店「ひだか」さん。なんと、当JA直売所「とれのさと」で石狩産野菜を週2～3回のペースでお買い上げ頂いている超リピーターでもあります。いしかり地産地消の店推進協議会（※1）の会長でもある店主・矢野目伸一さんにお話を伺ってきましたのでご覧ください！

※1 いしかり地産地消の店推進協議会は、平成23年からいしかり産農水産物を積極的に使用する市内の飲食店等を「いしかり地産地消の店」として認証し、いしかり産農水産物の消費拡大と地産地消の推進に取り組んでいます。



石狩鮭醤油ラーメン

名前のとおり、トッピングに石狩産鮭のスマークサーモンを使用している醤油ラーメンです。麺も石狩産小麦「春よ恋」を使用して製麺されています。トッピングのレタスもよく合いとてもおいしいラーメンです。



石狩鍋

石狩市が発祥の地である石狩鍋を提供するひだかは、石狩鍋復活プロジェクト「あき味の会」に参加しています。「とれのさと」でお買い上げいただいた石狩産野菜（玉葱、人参、キャベツ）をはじめ、野菜だけでなく鮭、いくらなど石狩産の食材をふんだんに使用した地産地消の鍋で、最後まで熱々のまま食べることができます。



ホタテと長芋のバター焼き

店主・矢野目さんイチオシの石狩産長芋を使用した絶品。長芋を素揚げし、ホタテとバターで炒めた一品です。どちらも見た目は白いので、一瞬長芋なのかホタテなのかわからないところも楽しみの一つで、食べるとホタテの旨みと長芋のホクホク感が味わえます。



グリーンサポーター

利用者協議会通常総会開催

3月25日、グリーンサポーター利用者協議会第3回通常総会を開催しました。

開催にあたり、松本尚俊会長より挨拶があり、議長には藤岡裕寿さんが選任されました。議事は役員改選も含めて全て原案通り可決・承認されました。

総会終了後には全体会議を行い、次年度に向けての賃金設定及び取り決め事項を再確認しました。また、雇用者及びグリーンサポーターを対象に行った平成30年度のアナケート調査集計結果を基に実情を把握し、今後に向けての改善策の検証を行いました。

社会問題となっている『人手不足』をどう乗り切るかが今後の課題です。会議では改善策や有効活用に向けた取り組みを話し合い、多くの議論が交わされました。有意義な時間となりました。

新役員は次の通りです。

— 新役員 — (敬称略)

会長	越後 浩義
副会長	大村 喜輝
委員	成田 和彦
計事	寺内 崇
監事	杉中 敏男

グリーンサポーター

新規登録者説明会



4月9日、当JA花畔支店で、今年度の新規登録サポーターを獲得すべく説明会を開催し、前年よりも若干多い約50名の方に参加していただきました。数人毎のグループに分かれ、JA職員から勤務内容・条件などの説明の後、参加者からの質問の時間を設け、受入農家の収穫物の確認や勤務時間の相談などがありました。



外での作業が多いため天候等により作業がない場合や、逆に雨でも収穫作業がある場合など、農家のお仕事をご理解いただいた上で、その場で申し込みされる方もいました。必ずしも晴耕雨読のような仕事ばかりではない点や体力的に厳しい時もある点をご理解いただいた中でサポーターとして働く意欲を持って来ていただく方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今年もたくさんの方々の皆さんに支えて頂きながら、順調に作業がはかどるよう進めてまいります。

理事会だより

第2回 臨時理事会 ～平成31年4月10日～

■ 審議事項 ■

- 1) 代表理事組合長の選任について
- 2) 常務理事、信用担当理事の選任について
- 3) 代表理事組合長に事故がある時の業務執行代理順序について
- 4) 理事会内規の一部改正について
- 5) 管理金融委員、営農経済委員の選任について
- 6) 平成31年度理事報酬について
- 7) 基盤整備促進事業に係る指名競争入札業者の選定について

■ 報告事項 ■

- 1) 監事会報告
- 2) 災害時給油体制緊急整備事業について
- 3) その他



第3回 定例理事会 ～平成31年4月25日～

■ 報告事項 ■

- 1) 農産物販売状況について
- 2) 平成31年度農業機械施行単価基準表について
- 3) 内部審査結果報告について
- 4) 役員賠償責任保険について
- 5) 平成31年度組助供給限度額・貸越極度額・現金供給限度額の設定について
- 6) 組合員の罹災に対する見舞金の対応について
- 7) 平成31年度役員各種会議・研修等・事業行事関係について
- 8) 農業委員会総会について

■ 審議事項 ■

- 1) 貸付金の申込み査定について
- 2) 水田・畑作青果に係る次年度予算概算要求に向けた組織討議について
- 3) 内部統制規程の一部改正について
- 4) 北海道検査指摘事項に対する改善状況等の報告について
- 5) 平成30年度行政庁業務報告書の提出について

■ 協議事項 ■

- 1) 役員視察研修について

米麦課よりお知らせ

夏期対応として、6月3日より米麦課が農産物検査場へ事務所を移転しますのでお知らせします。

【農産物検査場直通】

▼TEL▼

0133-66-3164

▼FAX▼

0133-66-4191

年金感謝デー日程のお知らせ

当JAで公的年金をお受け取りの皆様へ
今年も年金感謝デーを実施しています！

今後の日程

- 6月14日(金)
- 8月15日(木)
- 10月15日(火)
- 12月13日(金)

日頃のご愛顧に感謝して、

年金支給日にプレゼントをお渡ししています。

公的年金を受給している当JAの通帳をお持ちになり、
ぜひ金融窓口へお越しください！

おくやみ

花畔地区 上組1班
天羽 正男 さん 享年85歳
平成31年4月13日逝去

花畔地区 花畔中央2班
千葉 英子 さん 享年88歳
平成31年4月22日逝去

石狩地区 北生振6班
伊藤 悟 さん 享年90歳
平成31年4月24日逝去

生振地区 生振第1
青木 幸子 さん 享年88歳
平成31年4月27日逝去

生振地区 生振第2
小島 トキ さん 享年101歳
令和元年5月7日逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。



波多野 夢子

Yumeko Hatano (23)

YUMEYASAI アカウント
@yumeyasai

小さな農家の大きな夢

~YUMEYASAI~

-Vol.5-



Instagram



YUMEYASAIの農場でアスパラが5月7日に初収穫出来ました!!

早速天ぷらにして初モノを頂きました ✨

#YUMEYASAI #ゆめやさい
#石狩農業女子 #2019年 #春
#農業女子 #北海道 #石狩
#農業 #23歳 #愛情たっぷり
#旬 #野菜 #新鮮 #採れたて
#美味しい #Hokkaido
#Agriculture #Vegetables
#アスパラ #初収穫



こちらは昨年6月16日に撮影した写真です。小麦畑とトラクター、そして飛行機雲という素敵な1枚が撮れました!!普段農場にいと私にとっては何気ない景色ですが、SNSで発信すると「素敵な写真ですね」「自分もこんな風景を撮りたいです」というコメントを頂くこともあります。生産物の情報だけでなく、こういった景色などの発信もYUMEYASAIの魅力になれば良いなと思っています!

#YUMEYASAI #トラクター
#飛行機雲 #小麦 #青空 #農業
#6月 #農業女子 #北海道 #石狩



SNS(インターネットを使って人と交流できるサービスの総称)で見た場合のイメージで作成しています☆